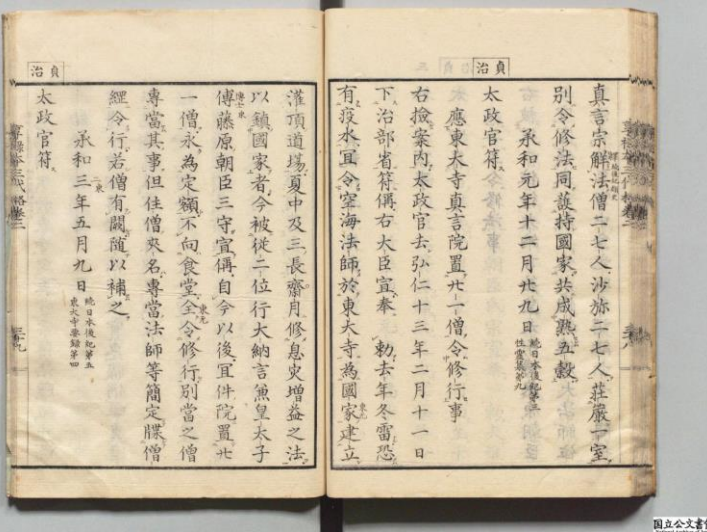


日本古代の寺院と史料

キーワード[日本古代史, 寺院, 僧侶集団, 歴史資料]

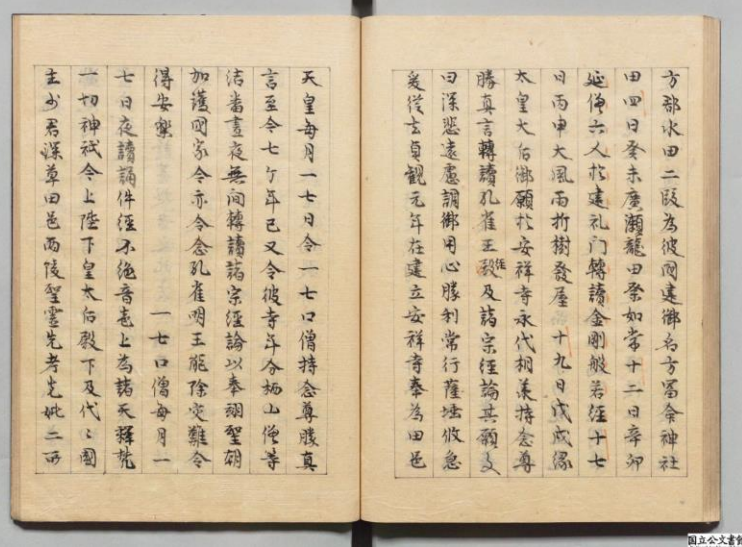
講師 佐藤 真海

内閣文庫所蔵・請求記号二六六・〇三五、国立公文書館デジタルアーカイブより



類聚三代格』(日本古代の法令書)

内閣文庫所蔵・請求記号〇四九・〇一七、同上より



日本三代実録』(六国史の最後)

【研究内容】

①平安時代における真言宗寺院と僧侶集団の研究

歴史書や法令集、寺誌、古文書、貴族の日記などのさまざまな史料をひもとき、平安期における真言宗寺院の歴史的動態について考えています。日本社会が古代から中世へと大きく変動していく平安時代をみつめることは、変化の目まぐるしい(いま)を考えるうえでも、示唆を与えてくれるものではないかとおもいます。

②日本古代史料の校訂研究

日本古代の法典には、大きく分けて律・令・格・式の4種があることをご存じの方はおられるとおもいます。その内、格を今日に伝える『類聚三代格』(るいじゅさんだいきやく)の校訂研究に参画しています。複数のテキストの文字を吟味することで、歴史を考える上での基盤となる、原撰テキストの復原にせまろうとする試みです。

【アピールポイント】

研究や教育活動では、今日残された文献史料をじっくりと読み解くことを大事にしています。また、上記以外にも、山形文化遺産防災ネットワーク(<https://yamagatabunkanet.wixsite.com/index>)のメンバーとして、山形の歴史資料や文化遺産を守り、伝える活動にも取り組んでいます。

所属：山形大学学術研究院(人文社会科学部主担当)

分野：歴史学

専門：日本古代史

E-mail : msato[at]human.kj.yamagata-u.ac.jp